

三倍も高價なスコポラミンを共に製造すれば平時でも充分引合ふであらう、殊に原料としては日本には此外にヒヨス、マンダラゲなども野生するヒヨスは滿洲に無盡藏で現に輸出されてる、原料が有り餘るから内地の需要は勿論の事、將來は輸出品としても實に有望である併し原料が無盡藏でも採取法が悪いと根絶する虞れがあるから山林局邊りで充分に取締つて貰はねばなるまいと語つた。

### 硝蒼の原料成る

胃腸藥として最も多量に使用される次硝酸蒼鉛、次サルチール酸蒼鉛、外科手術に要する<sup>ア</sup>次<sup>イ</sup>沒<sup>ロ</sup>食<sup>ニ</sup>子<sup>ハ</sup>酸<sup>ヘ</sup>蒼鉛等の原料になる金屬蒼鉛製造の試験は平山藥學博士主任となり、大阪衛生試験所で研究中の所、二十九日の官報で成績を發表した。此の結果で見れば我が國に於ける蒼鉛鑛の製煉事業も有望である、硝蒼は年々輸入される額が非常に多く最近三ヶ年の平均に依れば、四萬五千八百餘斤價格約二十一萬圓に達し、時局前は一封度三圓三十五錢のものが本年三年は八圓六十錢に暴騰し、次サルチール酸蒼鉛、次沒食子酸蒼鉛の輸入之れに次ぎ市價も次サルチール酸蒼鉛が時局前一封度四圓五十錢、次沒食子酸

蒼鉛が二圓七十錢であつたが、本年三月には前者は十一圓、後者は八圓八十錢と云ふ高價なものとなつた、五六年前岐阜縣神岡鑛山から副産物として金屬蒼鉛が産出されるので或る製藥會社で試験をしたが物にならなかつた、蒼鉛を精製するに大切なのは砒素を含有しない様にするのにある、粗惡な蒼鉛には砒素が含有して居て藥品に成た化合物でも附着してゐる、砒素は毒藥であるから餘程注意しなければならぬ、然るに其後關稅改正となつて硝蒼などの原料品たる金屬蒼鉛が無稅で輸入されることになつた爲大阪の製藥會社が舶來の原料で製造を始めたのが二三年前である、併しこれは僅に小部分で到底需要を満すまでに至らなかつた、矢先き戰亂となつて是等も輸入杜絶の状態となり臨時藥業調査會で研究することゝなつたのである、平山博士等の調査研究した鑛山は岡山縣の羽出鑛山、伊茂岡鑛山、養野鑛山、兵庫縣の生野鑛山、秋田縣の小坂鑛山、岐阜縣の神岡鑛山、新潟縣の中の澤鑛山、栃木縣の西澤鑛山、福岡縣の三の岳鑛山、朝鮮の第三號鑛區等で此の外京都府の富岡鑛山、山口縣の長登鑛山、藥王子鑛山、大分縣の平尾鑛山、岐阜縣の蛭川鑛山等も有望と認められるものである、小坂鑛山の如き電解精銅を行ふ場合に副産物として一ヶ年約千五百封度の蒼鉛を産し神岡鑛山の如き一ヶ年七千封度乃至一萬封度の

製造力を有するものゝ如く朝鮮第三號鑛區は蒼鉛一萬五千圓の産額あるなど我が國に於ける産出状態は全く有望なもので尙ほ調査を進むるに於ては産額を増大し得る餘地あるものと認められると報告されてゐる、博士等は是等の原料鑛を使用して選鑛試験を行ひ、更に製煉法を行つて粗製金屬蒼鉛を作つたが進んで精製試験を行ひ電解的精製法に依り精製したるものは純蒼鉛の含量九割九分八厘九毛で、品質も純良なものであると云ふ事である。尙ほ之等製煉上の詳細は官報を見れば分るが此の報告は小規模の實驗であるから更に規模を擴大し後日又報告すると云ふことで此の報告には經濟上の計算は記載してない。

## 女子教育

John Ruskin Sesame And Lilies—

OF QUEEN'S GARDENS の一節

All such knowledge should be given her as may enable her to understand, and even to aid, the work of men: and yet it should be given, not as knowledge, - not as if it were, or could be, for her an object to know, but only to feel, and to judge.

It is of no moment, as a matter of pride or perfectness in herself,

whether she knows many languages or one; but it is of the utmost, that she should be able to show kindness to a stranger, and to understand the sweetness of a stranger's tongue.

It is of no moment to her own worth or dignity that she should be acquainted with this science or that; but it of the highest that she should be trained in habits of accurate thought; that she should understand the meaning, the inevitableness, and the loveliness of natural laws; and follow at least some one path of scientific attainment, as far as to the thresho'd of that bitter Valley of Humiliation, into which only the wisest and bravest of men can descend, owning themselves for ever children, gathering pebbles on a boundless shore.

上の一節は John Ruskin の著 Sesame And Lilies といふ本の中の後篇 of Queen's Gardens の一節なり。文章の流暢にして美しきこと繪を見る如し。此の親爺は實に甘い事を謂ふと何時もながら感服する次第毎年休暇には此の本を出して讀めども厭かぬこと茲に十年、獨り楽しむにも及ばず抜き出して以て諸子に示す。

末段は Newton の語なり、或人 Newton に向ひて足下は如何にしてかゝる大發明をなされたるかと問ひたるに、Newton 我は天賦の才あるものにあらず、日夜寢食を忘れてたゞ充分なる解釋を得るまで一つの事を考ふるのみ、真理の海は洋々として我前に横れり、我はだゞ濱邊に出